

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	障がい児者支援施設こころ神吉事業所 児童通所こころ神吉	事業所における自己評価結果			
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	4	物をできるだけ置かないようにしてスペースの確保を行っている	十分な広さではない為、常にスペースが確保できるようにしていく
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	職員間で連携をとってケガや事故がないようにしている	規程の人数は配置されているが、児童の安全面や活動の多様性を考えると人員増員が必須
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	7	場合によってはスロープなどを使用している	玄関に段差がある。バリアフリーの場所とそうでない場所がある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	掃除や整理整頓がしっかりされている 5Sチェックも実施している	教材教具等支援で使用した物が出しつばなしにならないよう片付けを徹底していく
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	状況に応じて対応している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	業務改善を進める為に部署会議等で検討している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	内容を共有し改善に努めている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		部署会議内で意見等を把握できるようにしている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		現在外部評価は実施していない為、今後検討していく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		意思決定支援等を含めた法人内研修を多数実施している	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援プログラムは作成・公表している	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		子どもと保護者のニーズや課題に沿った意思決定支援も含めた支援計画書を作成している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		会議を実施し各職員の共有理解のとて検討を実施している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画内容を共有・把握し計画に沿った支援を実施している	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		発達検査や保護者・利用者との面談を通したアセスメント等を使用し個々の状況を確認したり把握に努めている	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			地域支援・地域連携の部分では、連携が難しい学校等も多い為、今後も連携が図れるように働きかけていく
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	職員間で話し合い等を行い、チームで立案している	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		各職員が子どもに合った様々なプログラムを考案し固定化しない工夫を行っている	

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		実施している	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3	できる限り実施している	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	8		送迎や勤務時間に変動があり職員が全員揃うこと難しく支援終了後に実施できない場合は翌日の午前中に共有している
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日誌や月の評価等で支援の検証や改善を行っている	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に一回もしくは状況に合わせて半年未満でモニタリングを行っている	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		子どもの個々のニーズに沿った4つの基本活動を行っている	地域交流の面は、十分ではない為今後も機会を検討していく
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		法人内で意思決定支援研修を実施しながら学びを深め、子ども達が自己選択や自己決定ができるよう支援を行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		状況を把握している児童発達支援管理責任者が参画している	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	必要に応じて連携を行っている	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		利用児童が通っている学校担任と情報共有を行っている	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	連携会議に出席し相互理解に努めている	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		担当者会議等で情報共有を行っている	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3		発達支援センターとの連携は図れているが、スーパーバイズや助言などの機会は設ける機会はない
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	8		交流を図る機会がなく、今後交流する機会が設けられるよう検討していく
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	自立支援協議会支援者交流会や研修等に参加している	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		モニタリング時や担当者会議、送迎時やお迎え時等常に子どもの状況を保護者と共有し共通理解に努めている	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	保護者会を通して体験会や情報共有の場をもうけている	
機 構 の 運 営	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	契約時に丁寧な説明を行っている	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		子どもや保護者のニーズを拾い上げ、それぞれの意向を面談等で確認している	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		支援内容の説明を丁寧に行い同意を得ている	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		十分時間を取り面談で必要な支援や助言を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	4	保護者会は開催しており保護者同士の交流の場を設け支援している	兄弟に関しては開催時間帯が学校滞在時間の為、現段階では兄弟間で交流する機会が設けられていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		法人内で適切に対応できるような体制が整えられている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	SNSで活動内容を含め発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		保護者とも個人情報同意書を交わし、取り扱いには十分留意するよう職員間で共有している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		個々に合わせて対応している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9		今後は検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各マニュアルは職員間で共有し事業所で訓練を実施している	家族などへの周知は不十分である
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		毎年定期的に実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		処方箋や保護者の説明を受け、こどもの状況を都度確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	指示書の提出は求めていないが、必要であればその都度提出をお願いし適切な対応を行っていく	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		マニュアルを作成し訓練を実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	オープンチャットを活用している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		部署内で共有し再発防止策を検討した後、管理者会議で報告をあげている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		毎年虐待研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		部署会議で話し合い同意書に記載し説明をし同意を得ている	

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児者支援施設こころ神吉事業所 児童通所こころ神吉		
○保護者評価実施期間	令和7年10月30日 ~ 令和7年11月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 33名
○従業者評価実施期間	令和7年10月30日 ~ 令和7年11月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団・個別共に多彩なプログラムを提供している	当事業所では、子ども達が主体的に参加できる活動の場づくりや活動選択の機会を設けながら、自立課題・活動プログラム・クッキングや外出行事等を実施している	より多様なニーズに応える為、子ども達の意見や思いを反映できるフィードバックの場を設け、より主体的な活動参加を促し、プログラムの質の向上に繋げていく
2	子どもの意思決定ともっと知りたい・やってみたいという前向きな姿勢を育めている	活動の中で子ども達の強みや興味に着目した声かけや役割の設定を行い、自信をもって取り組める環境づくりを意識している。また、活動の中に選択・協働・振り返りを組み込み主体性と自己理解の向上を図っている	子ども自身が企画・活動実行（発表）する機会を増やし協働性や社会性を育むプログラムの充実を図る
3	常勤で理学療法士を配置しているため、リハビリをかねた活動ができている	外部の専門職と一緒に活動の中でできるリハビリ内容を考え取り入れている	理学療法士が、いなくとも他の専門職でもリハビリができるように職員間で共有していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動（運動）スペースの狭さにより子ども同士のトラブルに発展しやすい	児童の年齢が上がるとともに運動スペースの狭さが浮き彫りになっている。感覚過敏の子どもにとっては、音・動き・視覚的刺激が多い環境で過ごすことが負担となり、落ち着きにくさや不安に繋がる場合がある。また、子ども同士の距離が近くなることで小さなトラブルが生じやすい状況も要因のひとつとなっている	空間のゾーニングや静と動の動きを分けるレイアウト構成へ改善していく事も検討していく
2	非常時の対応などの取り組みについて保護者の方への情報があまり伝わっていない	職員間では、周知できているが保護者には訓練を実施した日には伝えるようにしているが全員には伝えることができていない	実施した日には、保護者の方に伝えていくとともにインスタグラム等でアップしていく
3	勤務時間が様々なのでミーティングや情報共有の時間を確保するのが難しい	午後からの職員が多いため、支援や送迎に入っているため全員そろってのミーティングがあまりおこなえない	共有しておかないといけないことをまとめておき、支援前の少しの時間で共有するようにしていく

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-right: 10px;">公表</div> <div style="text-align: center;">保護者等からの事業所評価の集計結果</div> </div>								
事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果						
事業所名		公表日 令和7年12月25日						
		利用児童数			39名		回収数 33名	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	8	1	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	1		3		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	4	1	5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	4		3		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	1				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	3	3	13		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	2	2	7	年に数回で良いので家族に対してペアレントトレーニングをおこなってほしい。 他の家族と交流、情報交換できるかとおもう。	今後検討していきます。
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	32	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	1		1	いつもお話を聞いていただき大変助かっています。	今後も継続しておこなっていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	7	4	5	年に数回保護者会を開催して交流会の機会を設けて利用している子どもたちは交流できているが親、兄弟同士のイベントを交流したら話せる機会が増えると思う	兄弟同士の交流ができる機会を検討していく
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1				

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31			2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	2		4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33			かわいがっていただきありがとうございます。先生、他校のお友達がいるので安心感をもっています。	今後も安心して利用していただけるよう支援していきます。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33			お友達と遊びのを楽しみにしています。クッキングも楽しみのようです。助かっています。とても楽しく通っています。	今後も子どもたちが楽しく過ごせる環境やプログラムを実施し成長につながるように支援をしていきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33			いつもありがとうございます。こどもに合わせた支援をしてもらっているのでできることが増えて助かっています。	こどもたちがこころに通所したいとおもえるように一人ひとりに寄り添いながら支援していきます。	